

教育事業別報告書

事業名	なすかしの森 チャレンジスクール（中1ギャップ対策事業）	
趣 旨	西郷村内全5校の小学校に在籍する6年生が、学校の垣根を越えたグループで様々なプログラムに挑戦し交流を深めるとともに、西郷村長や教育長、中学校の校長先生の話聞き、中学校生活についての情報を得たり自分たちの将来について考えたりすることで、中学校生活に対する不安を減らしたり、意欲を持って進学したりできるようにする。	
期 間	平成29年9月6日（水）～9月8日（金）	
募集人員 （募集結果）	西郷村立熊倉小学校 49名 西郷村立米小学校 23名 西郷村立川谷小学校 7名	西郷村立小田倉小学校 75名 西郷村立羽太小学校 11名 支援スタッフ 1名

① 事業の特色

昨年度までは西郷村が単独で開催していた事業を当所と共催する形で実施した。事業の形態として村内の小学校の教師の主導で活動を行う形は崩さず、当所の職員は事業の運営や活動プログラム実施に関する助言や支援を行った。村内の小学生の男女混合グループで様々なプログラムに挑戦するのが一番の特色である。また、村内の子供たちは前年度に当所の看板事業であるセカンドスクールを経験しており、当所の利用の仕方についてもよく理解していることも特徴としてあげられる。さらに、セカンドスクールとチャレンジスクールのアンケート調査の比較などから、それぞれの事業の有効性や相乗効果について考察できるというメリットもある。



② 事業の成果と課題

〈事業の成果〉

- ・2泊3日という短い時間ではあったが、子供たちはそれぞれ打ち解け合い協力して活動することができていた。
- ・これまで担当教師だけで運営を行ってきたが、当所が助言や支援に関わることにより、よりスムーズな運営ができた。

〈事業の課題〉

- ・今年度は、事務局の教師とのみ打合せを行ったが、当所の職員が運営会議などに積極的に参加してより多くの情報を得ることにより、目的を達成するためのよりよい運営を支援できるのではないかと感じた。
- ・後から支援スタッフが入ることが急遽決定したため、担当教師に対応していただいた。事前に予定に入れておくことでよりよい計画ができるのではないかと感じた。

③ その他

・今後継続してデータを蓄積していく中で、チャレンジスクールの効果だけでなく、セカンドスクールの効果の持続性や、セカンドスクールとチャレンジスクールの両方を経験することによる効果等について調査・考察していきたい。

（企画指導専門職 吉田 淳也）

